

第91回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日時 令和元年6月26日(水) 13時00分～14時45分
- 2 場所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇(議長), 伊藤, 稲垣, 碓井, 大松, 櫻井, 佐々木, 柴橋, 村瀬, 福井, 江馬, 野々村, 鈴木, 大藤, 吉田, 林, 王の各委員
オブザーバー:
別府教育学部長, 富樫地域科学部長, 岩間医学系研究科長,
村井工学部長, 杉山応用生物科学部長, 吉田監事

4 議事要旨の確認について

第90回の経営協議会議事要旨(案)を原案どおり確認した。

5 審議事項

(1) 平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

福井委員から, 資料1に基づき, 国立大学法人評価委員会に提出する「平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)」について説明があり, 審議の結果, 了承され, 6月27日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 報告書は公表するものであり, 社会一般の受け止め方として, もう少し簡潔で分かりやすいことが求められる。したがって, 岐阜大学の強み, 新たな取組について絞って公表していただくとさらに良い。
- 御指摘のとおりであり, 反省するところである。

(2) 大学機関別認証評価に係る自己評価書(案)について

福井委員から, 資料2に基づき, 大学機関別認証評価自己評価書(案)について説明があり, 審議の結果, 了承され, 6月27日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 地域科学部は, 岐阜市との関係では日頃から縁が深いところ, 指摘が集中している点について詳しく御説明いただきたい。
- 教育が十分になされていない訳ではなく, 教育課程が整っていないなど, 形式が満たされていない点について, 改善を要すると判断した。
- 形式的であれば, 改善は比較的容易ということか。
- そのように理解している。
- 教育学部で実施されている岐阜清流入試とは何か。また, 教育学部の機能について, 統合を見越した名古屋大学との今後の発展見込みはどうか。
- 推薦入学Ⅱ特別選抜の呼称であり, 岐阜県内で教員になっていただける方を募集している。名古屋大学の教育学部は修士・博士課程人材の養成が主であり, 教員養成を主とする本学とは異なる。一方で, 例えば, 臨床心理士を養成する機能は両大学にあるため, 分野によっては連携が可能と考えている。
- 英語教育についての連携はどうか。

- 英語教育については既に授業外の連携が始まっており、授業についても今後進むものと考えている。
- 認証評価機関が教育内容を重点的に見る。その一方で、学生の意見が大事になってくる。両面からの取組により、より良い形で進むのではないか。
- 学生本位の教育がどこまで達成したかについては、毎年度改善と検証を行っている。
- 文部科学省が、学部3年生を対象にアンケート調査をすると聞いている。各項目について大学がどんな対応をしているか検証する機会になるので、足りないところは工夫する必要がある。
- 豚コレラの対応についてお礼申し上げる。社会に対して獣医師のイメージを持っていただける良いきっかけになれば良い。
- 動員された獣医師免許を持つ大学院生から、従来とは違う使命があることがよく分かった、とのコメントがあった。

(3) 附属学校の義務教育学校化について

福井委員から、資料3に基づき、令和2年度から附属学校を義務教育学校化することについて説明があり、審議の結果、了承され、6月27日（木）開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 特別支援教育の中に通級教室を設置することが示されているが、対象は附属学校の生徒のみか。
- 当面は附属学校の生徒対象だが、ニーズにもよるので、将来的には地域の貢献も見通していきたい。
- 義務教育に対する整合性はどうか。
- カリキュラムを大幅に変えることはない。小学校6年、中学校3年の仕組みとの整合性は取った上で行う。一部余剰な時間を生み出して新たなカリキュラムを組むこともあり得る。
- 将来ビジョンを聞かせていただきたい。県民のイメージとしては、蒲郡の海洋中等教育学校のような目で見られ、違う目で評価されるかもしれない。可能な限り地域に理解されるようにしていただきたい。例えば、岐阜大学が国際化には一番近いのではないか。
- 本学の附属学校は、入学試験を課す他の多くの国立大学附属学校とは異なり、抽選方式を堅持している。人間教育の重視が息づいており、それを生かして通級も設置する。したがって、方向性は少し違う。義務教育学校化は北方町や岐阜市内でも計画があるが、本学はモデルを作る計画であり、岐阜県教育委員会から期待されている。

(4) 国立大学法人岐阜大学運営組織規則の一部改正について

大藤委員から、資料4に基づき、運営組織規則の一部改正について、改正概要の説明があり、審議の結果、了承され、6月27日（木）開催の役員会に附議することとされた。

(5) 平成30事業年度財務諸表(案)等について

大藤委員から、資料5に基づき、文部科学省等に提出する平成30事業年度財務諸表(案)について、貸借対照表及び損益計算書の概要、決算報告書の概要の説明があり、審議の結果、了承され、6月27日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 附属病院については、どの辺りを頑張ったのか。
- 前年度比約15億円収益が上がったのは、構成員の危機感の表れであり、実質的には稼働率の上昇が大きく寄与したものである。臨床研究や治験をベースに患者を増やすコンセプトが浸透してきたと考えている。

(6) 令和2年度概算要求(案)について

大藤委員から、資料4に基づき、令和2年度概算要求(案)について説明があった。次いで、施設整備費概算要求事項(案)について説明があり、審議の結果、了承され、役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 医療者教育学専攻は修士2年とのことだが、現在の6年制大学との関連はどうか。
- 6年制とは別に専攻を設置する。
- 人工知能研究推進センターや地域推進バリアフリーコンポジット研究センターについて、どのような教員を採用する方針か。
- 基本的な要素開発を担う人材は本学にいるため、それを社会実装するときに、プロデュースする方が、両センターともに必要と考えている。
- 特任教員も採用するのか。
- 社会のニーズを分かっている人を採用したい。シーズ(特許等)を社会実装する上で、目利きとなる人材を採用したい。
- 広範な観点で概算要求することは良い。議題とは直接関係ないが、科学技術の高度化に対応して、AIや数理データベースの素養を早い段階で身に付けなければならない。文理問わず、共通教育の段階で身に付くようにしていただきたい。
- 東海国立大学機構での取組と認識しており、後ほど説明する。

(7) 手術室増設整備について

吉田委員から、資料7に基づき、手術室の現状、手術室増設の必要理由等の説明があり、審議の結果、手術室増設整備を行うことが了承され、6月27日(木)開催の役員会に附議することとされた。

(8) 東海国立大学機構について

議長から、資料8-1に基づき、国立大学法人岐阜大学と国立大学法人名古屋大学を統合して国立大学法人東海国立大学機構を創設することを規定する「学校教育法等の一部を改正する法律」について、5月17日に成立し、5月24日に公布された旨説明があった。また、法律の成立後、同法附則第2条第1項の規定に基づき、両法人間で設置している東海国立大学機構設立準備協議会の第6回会

議（6月6日開催）において、「国立大学法人東海国立大学機構合同機構長選考会議規程」を定め、合同機構長選考会議を設置したこと、さらに、同法附則第2条第2項の規定により、今後、機構長の選考を行い、文部科学大臣に申し出を行う旨説明があった。

続いて、資料8-2に基づき、東海国立大学機構の発足から概ね3～5年後を見据えたスタートアップビジョンの案の内容について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、東海国立大学機構設立準備協議会において決定することが了承された。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 論文の帰属はどうか。
- 本学の教員であれば、国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学となる。
- 当面の取組として掲げられた糖鎖等については、それぞれ将来に大きな期待が持てる。中部経済圏を取り込み、連動する形で取り組めば、中部圏の大きな流れになるので、期待している。
- 今後、10年経過すると自動車産業は大きく変わることが想定される。中経連は、航空宇宙は伸び代を伸ばす方向で話をしている。また、中経連の執行部は、ものづくりだけでなく農林畜産業に大きな関心がある。
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）を取り込むことが出来れば、日本のトップレベルとなる。
- 宇宙分野について、先を見越した人材育成として、本学のほか、高専、JAXA、国立天文台が入り、高大連携により宇宙工学講座を開講している。

6 報告事項

（1）国立大学法人東海国立大学機構合同機構長選考会議（第1回）について

大藤委員から、資料9に基づき、6月9日（日）に開催された国立大学法人東海国立大学機構合同機構長選考会議（第1回）の概要について報告があった。

なお、本事項のみ議長は退席し、大藤委員により進行された。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 機構長候補者はいつまでに決めるのか。また、会議開催の際は、毎回プレスリリースするのか。
- 大学総括理事の候補者を選考する必要があることを想定した場合、学内手続きを考えると、10月に入るまでには機構長候補者を選考していただく必要があると感じている。プレスリリースについては今後確認する。

（2）機能強化に向けた主な取組について

福井委員から、資料10に基づき、組織整備の状況、現在検討中の教育研究組織整備計画及び主な公募事業への応募・採択状況について説明があった。

（3）医学部附属病院の経営状況について

吉田委員から、資料11に基づき、医学部附属病院の平成30年度経営目標達成率について、損益計算書及び収支計算書に基づき報告があった。

7 資料配付事項

議長から、議事次第に基づき、以下の資料が配付されている旨の紹介があった。

- 平成31年度岐阜大学入学者選抜結果について <江馬理事> (資料12)
- 平成30年度卒業・修了者の就職状況等について <江馬理事> (資料13)
- 2019年度科学研究費助成事業について <野々村理事> (資料14)
- 岐阜大学 COC 事業及び COC+事業の進捗状況について <野々村理事> (資料15)
- 共同研究講座の設置状況について <野々村理事> (資料16)
- 平成31(令和元)年度岐阜大学国際連携専攻入学者について <鈴木理事> (資料17)
- 産官学の連携状況(平成30年度実績)について <王副学長> (資料18)
- 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の進捗状況等について <林副学長> (資料19)

8 次回の開催日

次回の開催は令和元年10月29日(火)を予定している旨の説明があった。